





# 綾道

あやんつ

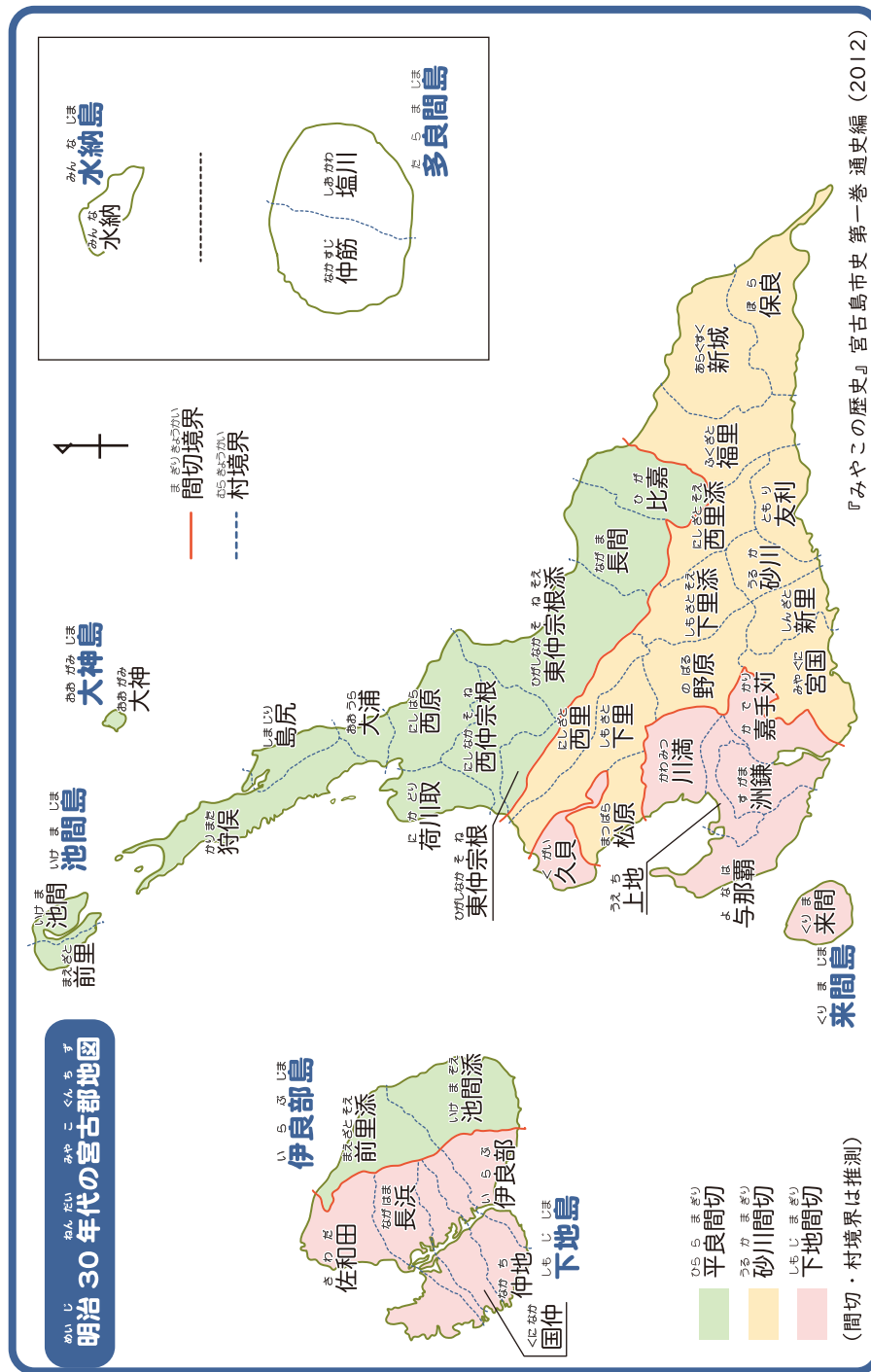
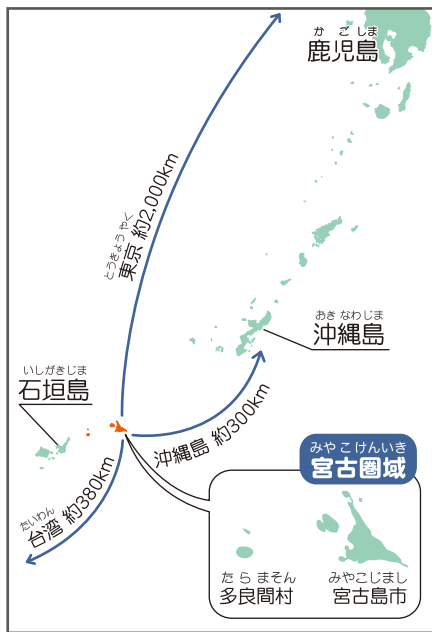
おもむき みち みやこ  
「趣のある道」のことを、宮古のことばで「あやんつ」といいます

みやこしまし いち めんせき  
宮古島の位置と面積

みや こじまし だいしやう しま みや こじま  
宮古島市は大小6つの島(宮古島、  
いけ まじま おおがみじま くり まじま いらぶじま しも  
池間島、大神島、来間島、伊良部島、下  
じま こうぜい  
地島)で構成されています。

総面積は204平方キロメートル、人  
 口約5万6,000人で、人口の大部分は  
 平良地区に集中しています。

しま ぜん たい      へい たん      さん がく ぶ      おお  
島全体がほぼ平坦で、山岳部や大き  
な河川もなく、生活用水などのほとん  
どを地下水に頼っています。





宮古島市neo歴史文化ロード **綾道 (四島・西辺コース)**

※御嶽は祭祀などを行う大切な場所です。神聖な場所なので入らないようにしましょう。

宮古島市の位置と面積.....	02
明治30年代の宮古郡地図.....	03
<b>散策マップ(四島・西辺コース)</b>	<b>06</b>
<b>四島の主の臺 市指定史跡</b>	<b>08</b>
四島の主と臺.....	09
「四島の主」の功績.....	10
<b>散策マップ(池間コース)</b>	<b>12</b>
池間島の概要.....	11
<b>大主御嶽(ナナムイ) 拝所</b>	<b>14</b>
<b>池間島のマーカーツツ 県選択無形民俗文化財・市指定無形民俗文化財</b>	<b>15</b>
男性が中心のマーカーツツ.....	16
女性が中心のユークイ.....	17
いろいろな用途に使われた土地・スクニャー.....	18
移住者を送り出した池間島.....	19
八重干瀬 国指定名勝及び天然記念物.....	20
八重干瀬に沈んだプロビデンス号.....	21
<b>散策マップ(狩俣コース)</b>	<b>22</b>
狩俣の概要.....	24
狩俣の村立ての伝承.....	25
<b>イスッガー(磯井)・クスヌカー(後の井) 市指定有形民俗文化財</b>	<b>26</b>
<b>狩俣の植物群落 市指定天然記念物(植物)</b>	<b>27</b>
クバラパーズの復讐.....	28
13~14世紀 宮古の豪族とグスク.....	29
狩俣のツナカキヤー(追い込み漁).....	30
<b>散策マップ(島尻コース)</b>	<b>32</b>
島尻の概要.....	34
島尻元島とナナカガー 市指定史跡.....	35



<b>宮古島のパーントゥ(島尻) 国指定重要無形民俗文化財</b>	<b>36</b>
<b>来訪神：仮面・仮装の神々 ユネスコ無形文化遺産</b>	<b>36</b>
パーントゥとともに登録された来訪神たち.....	37
島尻のパーントゥ・プナハ.....	38
<b>島尻断層崖と海食台 市指定天然記念物(地質)</b>	<b>40</b>
<b>シマジリクジラ化石 市指定天然記念物(地質)</b>	<b>41</b>
図解！ 島尻断層崖と海食台.....	42
<b>島尻のマングローブ林 市指定天然記念物(植物)</b>	<b>43</b>
<b>散策マップ(大神コース)</b>	<b>44</b>
大神の概要.....	46
秘祭 祖神祭(ウヤガン・ウヤーン).....	47
堆積物からわかる島の隆起.....	48
宮古島の一般的な地層.....	49
<b>先島諸島火番盛 池間・狩俣・島尻・大神 国指定史跡</b>	<b>50</b>
国立療養所 宮古南静園.....	51
石壁などに使われたビーチロック.....	52
まだまだある！ 魚垣.....	53
<b>散策マップ(西辺コース)</b>	<b>54</b>
西辺の概要.....	56
大浦多志と大浦集落.....	57
移住の決め手になったイーガマとヒダガー.....	58
<b>大主御嶽(西の御嶽) 拝所</b>	<b>59</b>
西原のマーカーツツ.....	60
西原のユークイ.....	61
大浦と小浦.....	62
<b>大野越排水溝(トンネル) 国登録有形文化財(建造物)</b>	<b>63</b>
憩いの場だけじゃない 大野山林.....	64
文化財の体系図・一例.....	66

- 大主御嶽(ナナムイ) P14
- 池間島のミャークツツ P15
- 先島諸島火番盛 池間遠見 P50

## 狩俣 コース P22

かり また

- 先島諸島火番盛 狩俣遠見 P50
- イスウガー(磯井) P26
- クスヌカー(後の井) P26
- 狩俣の植物群落 P27

にし へん な ぎやう

いけ ま おおほし

池間水橋

かり また

狩俣のツナカキヤー

お ころ ちやう

(追い込み漁) P30

かきえ

魚垣 P53

かり また

狩俣

しま じり

島尻

スガミスカー P09

かり また

海軍特攻艇秘匿壕(戦争遺跡編 P16)

ゆ すま

四島の主の墓 P08

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52

おお うち ら

大浦

うぶ ら たす いせき

大浦多志遺跡 P57

おお うち ら

唐井 P57

うはるす う たき

大主御嶽 P59

いし まり ば

石切場 P52



# 四島の主の墓



この墓は、島尻、大神、狩俣、池間の4集落(四島)を見渡せる小高い場所にあります。宮古の方言で集落を「島」といい、四島の主とは、「4つの集落の主長」という意味合いを持ちます。

四島の主は、農耕を奨励し、平良を往来する街道の整備と、道沿いに井戸や休憩所を設置するなど、住民の生活をよりよくするために尽力しました。四島の主の生没年は不詳で、この墓は近年まで主の子孫によって代々使用されてきたと伝えられています。



## 四島の主と墓

『宮古史伝(1927)』、『宮古庶民史(1957)』などの歴史書によると、四島の主の生没年は「不詳」とされています。

古謡の「四島之主のアヤゴ」に、仲宗根豊見親が登場することから、おそらく15世紀末～16世紀始め頃の人物ではないかと考えられています。

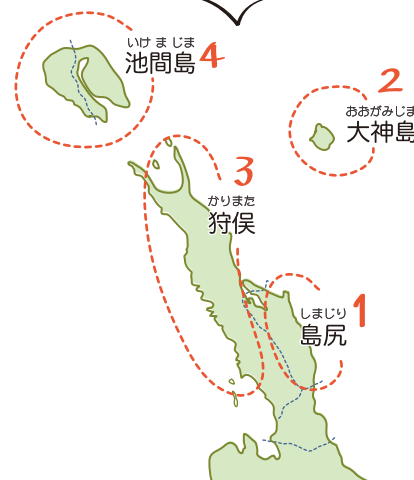
四島の主は狩俣の真屋(屋号)で生まれ、百佐盛と名乗り、幼い頃

から頭がよく、文筆才能に優れていたとされます。

集落には、四島の主のものだとされる墓が4基あるといわれており、その頃は偉人の骨は盗られやすかったため、カモフラージュとしていくつも造ったのではないかと考えられています。

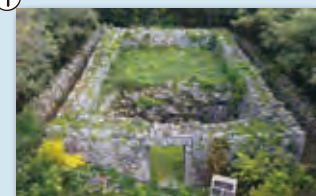
4基の墓のうち2基は所在がはっきりしていますが、残り2基は分かっていません。

集落＝島。  
この4つの「島」の主長だったといわれる。



4つお墓がある！？

①



文化財指定されている墓

②



狩俣駐在所の向かいにある墓

③

？

④

？

## 「四島の主」の功績

### 造船

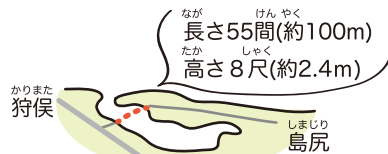


西表島

四島の主は、仲宗根豊見親の命によって、八重山諸島の西表島古見で船大工を集め、数か月かけて新しい船を完成させました。仲宗根豊見親は平良の漲水港で四島の主を出迎えるほどの喜びようだったと伝えられています。その後、その船で首里へ貢物を納める大任も果たし、四島の主の名は宮古だけでなく沖縄島まで知られるようになりました。

### 石橋の築造

狩俣と島尻の間に大きな入り江があり、人々は苦労して迂回していました。そこで、四島の主は住民と共に石橋を築造。人々はこの橋をパトラズパス(渡地橋)と呼び、民謡にも



うたわれています。石橋は戦後消失し、現在は少し海側にコンクリート造りの橋がかけられています。

### 井戸の掘削と休憩所の設置



昔は、狩俣から平良の間を往復することは大変でした。

そこで、四島の主は、狩俣と平良間の街道にいくつかの井戸を掘り、側にユカイ・ドゥクルと呼ばれる休憩所を設置。貴重な休憩の場として、集落の人々に長く利用されました。現在、狩俣中学校前にスガミヌカーという井戸が1か所だけ残っています。

## 池間島



池間島は宮古島の北に位置します。周囲9 kmで、池間大橋で宮古島とつながっており、池間と前里のふたつの字から成ります。島の中央にある宮古唯一の淡水の湿原である池間湿原は、渡り鳥を観察できる場として有名です。

湿原は、かつては漁港からつながる入り江で、島の食料庫でした。さらに島の北方には良好な漁場でもある八重干瀬という広大なサンゴ礁群があり、20世紀初頭から始まったカツオ漁業も加わって、池間島といえば「カツオー本釣り」を連想させるほどになりました。



# 池間コース

さん さく  
散策コース →  
とほ  
徒歩

しょうようじ かんくるま  
所要時間: 車で1時間30分  
(約16.6km)

浜からイヌブーへ  
舟を持って陸を越え  
ていたのが、フナクス  
舟越す

オカガニ  
注意!!

フナクス

いけ ま しま  
池間島

1940年初点灯。  
宮古初の灯台で  
今の灯台は3代目

いけ ま しまとうだい  
池間島灯台

やちようかんさつてんぼうだい  
野鳥観察展望台

イヌブー (入り江)

広さ13ヘクタール。  
島の13%を占める。  
県内最大で、宮古  
唯一の湿原

オカガニ  
注意

じゅんばいじゅん ばいしやうい  
ユークイの巡拝順と拝所名

- ① ナカマニー
- ② マーンツ(航海安全の神)
- ③ ムイクス(酒の神)
- ④ パナバリンミ(神の通る道)
- ⑤ フナクス(唐の神)
- ⑥ ウイラ(豊稔の神)
- ⑦ フィカー(赤豆の神)
- ⑧ カータガー(井戸)
- ⑨ ナツヴァ(航海安全の神)
- ⑩ ナカマニーへ戻る

池間の食米量庫  
だったイヌブー。

エビヤカニを  
獲ってその場で揚げて  
食べたよ!



1924年に干拓工事開始。水門ができる

単に、漁港を造る時  
に出た土砂で、入り江  
の河口付近を埋めたてに。

「日本の重要湿地」  
に選ばれたイヌブー。  
ムラサキサギは  
宮古が繁殖の北限

ガンやカモが  
集団で渡来する

きゅうれき  
旧暦5月の満月の  
前後は、産卵のために  
道路を渡る

やびし  
八重干瀬 P20

干満になると  
広大なサンゴ礁が  
浮かびあがる  
約5km先

野鳥の楽園  
航海安全の御嶽がある

フディ(フデ岩)

フ  
ディ  
大い 岩

おお がみ しま  
大神島

ひらら しがい  
平良市街 →

1992.2.14  
開通  
長さ1.425m

START P

230

いけ ま おおし  
池間大橋

大神島がよく見える  
火番盛の合図も  
よく見えた?

漁に出た舟も  
よく見えた  
迎えの準備

5往復 狩保

橋ができる前  
は木造船が  
出た... → 平良  
1往復

前又屋ムトウ  
上ぎ枳ムトウ  
真謝ムトウ

さきしましやうひ ばんまい  
先島諸島火番盛  
いけ ま おおし  
池間遠見 P50

おほるす う たき  
大主御嶽 P14

いけ ま しま  
池間島の  
ミヤークツツ P15

いけ ま しまりとうしん ころそうさ  
池間島離島振興総合センター  
ころ ぎい  
プロビデンス号の模型 P21

スクニャー P18

ころ う た まえ かいがんせん  
1956年頃の埋め立て前のおおよその海岸線



# 大主御嶽(ナナムイ)



池間の人はこの御嶽を「ナナムイ」と呼びます。島の守護神とされる御嶽で、池間島で最も崇敬されています。池間の年間祭祀の中心的な祭場で、男神「うらせりくためなうの真主」と宮古の十二方の神々を生んだ「子方母天太」という母神が祀られており、男子禁制です。

旧暦8～9月のマークツツの3日間を除き、一般の人の立ち入りは禁じられています。



# 池間島のマークツツ



池間島のマークツツは池間最大の行事で、毎年旧暦8～9月の甲午の日から3日間にわたって行われます。

池間島出身の55歳以上の男性で構成されるムトゥヌウヤたちを中心に、4か所のムトゥ(真謝・上ぎ桝・前又屋・前里)で執り行われます。池間島から分村した伊良部島佐良浜や平良西原でも、同日にそれぞれの地域特有のマークツツが盛大に行われています。

